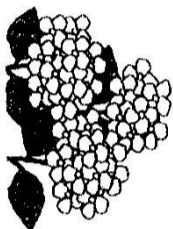


秦野市手をつなぐ育成会

— お知らせ —



事務局

発行責任者：相原和枝
(連絡先：84-2241)

* 6月号の会報はお休みさせていただきます。

毎年恒例の「そうめん販売」はありますので是非ご利用、ご協力頂きますよう
よろしくお願いいたします。

【行事について】

5月25日、新型コロナウイルスの緊急事態宣言が解除（北海道、埼玉、千葉、
東京、神奈川）されました。

しかしながら完全に終息に至っていない事もあり、人の急激な移動等で第2波の
流行も懸念されています。その為、秦野市手をつなぐ育成会は6月～8月の行事
についてすべて中止（自粛）とさせていただきます。9月以降の行事については改め
てお知らせさせていただきますので宜しくお願い致します。

新型コロナウイルス感染症に伴う要望・懸念事項について

要望・懸念事項等

- ・学校が休校になったことで、先生方・友達との関わりに不安を感じる。
・勉強面が心配。
- ・子どもが感染した場合、隔離が難しい。個室とか、障害者対応に優れている
専用の病院があるのか不安である。
- ・「困りごと」ではないが、最近やはり障害があると選択する量が少ないと改
めて実感する。
- ・通勤途中や学園内で感染する可能性があるのに、知的障害のある子を学園に
電車通わせてよいのか心配である。学園を休ませて既に三か月となる、感染し
たことで、「本人の健康」、「本人が感染源となり学園や家族の健康」、「本人か
ら家族、家族から職場への集団感染」が心配である。
- ・常に自分自身が無症状感染者になっていないか不安がある。
- ・目に見えず、匂いもしないウイルスへの怖さを本人にどう理解させ、自分の
身の守り方をどこまで教え、どこまで予防策が実行できるかに不安がある。具
体的には、電車で移動する際の公衆トイレの利用法、マスクや布手袋を替くな
ると嫌がってはささないか、ソーシャルディスタンスが難しい、などです。
- ・親子二人暮らしの過程で、介護者が新型コロナウイルスに感染した時子どもの預
け先はどうすれば良いのか？現在通所している施設では、この件に関しては
本人の短期等の利用等の受け入れはしないとのことでした。

コロナウイルス感染に関しまして、皆が初めての経験で、人と触れ合うこと
を極力減らす事や、外出自粛等今までの生活を変えなければならなくなりま
した。秦野市では感染した方も少なく、学校は休校になりましたが、障害者施
設では通所が休みになったところはほとんどありませんでした。

今まで子どもたちに教えてきた、スキンシップ、友達と仲良く等が出来なく
なり、コロナウイルスということも理解が難しく、外出自粛と言っても外に出
てしまう人もいたようです。コロナウイルスの怖さを本人にどのように理解さ
せるのかが難しいようです。しかしワクチンも、治療方法も確立していないウ
イルスなので自己防衛の為に外出を自粛することは大切だと思います。

今まで、外に出ることが多かったお子さんにも、家の中で楽しく過ごす過ご
し方を考えていく事もこれからは必要なことかもしれません。

今どうすればという答えは出ませんが、こういう時こそ育成会会員の皆様
で知恵を出し合い、必要な施策は関係機関、行政等に要望し親のやるべきこと
はみんな考えていく事が必要だと思います。

相原



〈育成会ホームページ〉

hadanoikuseikai.com